



人権だより

【問合せ】桂川町人権センター ☎65・1187

■人権・同和問題地域懇談会

10月から各行政区で実施した人権・同和問題地域懇談会も残すところ、11月6日に実施される2行政区となりました。多くの方に参加いただきありがとうございました。

今年は、「あなたに伝えたいこと」のビデオを視聴し、「もし、わたしだったら」という視点でみなさんと一緒に人権・同和問題について考えることができました。

参加した皆さんにお渡しした資料の「差別の構造～7つの立場～」(下図)はいかがでしたか。私自身、気づかないうちに傍観者になっていたり、無関心でいることがあるなどハッとさせられました。常日頃から人権意識をもつことを心がけていますが、やはり気づきは大切ですね。

そんな「気づき」に関連して、愛媛県で不合理な差別に立ち向かった「江口いと」さんが書かれた「人の値打ち」をご紹介します(右)。

なお、今回の地域懇談会の集計結果については、3月ごろ発行する冊子「けいかん」にてご報告します。

人の値打ち 江口いと

いつか モンペをはいてバスに乗ったら
隣座席の人が「おばはん」と呼んだ
よそいきの着物に羽織を着て汽車に乗ったら
人は私を「奥さん」と呼んだ
どうやら 人の値打ちは着ている着物で決まるらしい

講演会が開かれる 有名な大学の先生だといえば
内容が退屈でも人は耳をすませて聞き良かったという
どうやら 人の値打ちは 肩書で決まるらしい

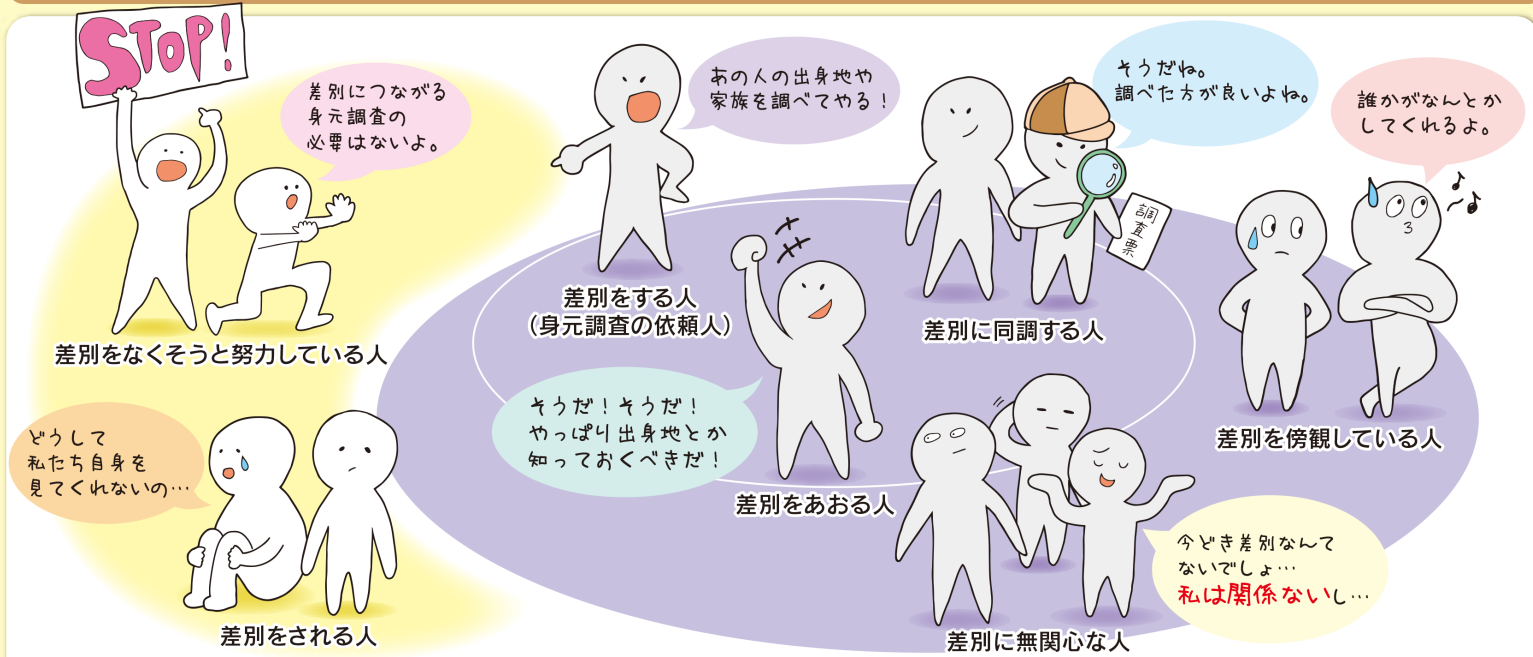
名もない人の話には
人はそわそわして帰りを急ぐ 話より買い物先と
どうやら 人の値打ちは 学歴で決まるらしい

立派な家の娘さんが部落にお嫁に来る
でも生まれた子どもはやっぱり部落だと言われる
どうやら 人の値打ちは 生まれた場所で決まるらしい

人は いつの日 この過ちに気づくのだろう
人は いつの日 この過ちに気づくのだろう

差別の構造～7つの立場～

あなたは今どこにいますか？



同和問題とは…

同和問題とは、その人やその家族の出身地や住んでいる場所によって差別され、精神的にも経済的にも厳しい生活状況に追い込まれるという日本特有の重大な人権問題です。

この問題は決して過去のものではなく、今も身元調査や同和地区問い合わせといったさまざまな差別事象が起こり続けています。

また、近年、悪質な差別図書の販売やインターネット等における差別的な情報の蔓延など、同和問題がより深刻化しています。

私たちがめざすことは…

同和問題をはじめとするさまざまな人権問題と向き合うとき、私たちの立場は7つの立場に分けられ、必ずいずれかに属しています。

そのことから私たちが学ぶべきことは、**傍観や無関心は差別を容認している**ということです。さらに、私たちがしっかりと認識しなければならないことは、**状況によっては誰もがどの立場にもなりう**

る可能性があるということです。だからこそ「**自分自身をふりかえり続けること**」が大切です。

常に「差別をなくすために努力する立場」であるために…これからも一緒に同和問題を学び続けながら、一人ひとりの人権意識を育てていきましょう。